



新・福岡古楽音楽祭 2023



古楽講座 vol.5 「むかしの楽器」～ホルン編～

～ヘンデル「水上の音楽」で使用するホルンと現代のホルンの違いを体感!～

第6回目の今回は、吹奏楽やオーケストラで活躍しているホルンに焦点をあてます。ヘンデル「水上の音楽」で使用する楽器(狩猟ホルン)の、その生い立ちから楽器の特性や現代楽器との違いなど、実際に体感できる講座です。どうぞお楽しみに!



日時：10月14日(土)10:15～11:45

会場：円形ホール (アクロス福岡1階)

講師：塚田 聡 (ホルン奏者)

対象者：どなたでもご参加いただけます

※小学校入学前のお子様のお入場はできません

受講料：1,000円

定員：100人 ※先着順。定員に達し次第受付終了。

申込期間：7月15日(土)10時～7月31日(月)15時

※先着順。定員に達し次第受付終了。

申込方法：ホームページのフォームより

申し込みください →

(<https://www.kogaku.net/>)



問い合わせ：新・福岡古楽音楽祭 事務局

✉ kogaku.fes@gmail.com

🌐 <https://www.kogaku.net/>

主催：新・福岡古楽音楽祭実行委員会、福岡県、福岡市、(公財)アクロス福岡、(公財)福岡市文化芸術振興財団

後援：福岡県合唱連盟 福岡吹奏楽連盟 協力：日本アートマネジメント学会 九州部会



◆本講座の聴き所はここ!◆



POINT

ホルンの起源は、狩で用いられていた狩猟ホルン。構造はとてもシンプルで、ただの長い管をまるめただけのものです。もっぱら野外で演奏されていた狩猟ホルンが次第に楽器の仲間として合奏に迎え入れられるようになり、やがてオーケストラを象徴する花形楽器にまでなっていきます。歴史をひもとくことによりホルンの秘密・魅力へと迫ります。

◇賛助出演：下田太郎(ホルン奏者)

◆講師からのメッセージ◆

今回の新・福岡古楽音楽祭のメインコンサートで演奏されるヘンデルの「水上の音楽」にはホルンが2本入っています。野外の雰囲気がいやがおうでも高まる当時のホルンの響き。ヘンデルの音楽におけるホルンの役割なども探りますので、メインコンサートを聴くガイドにもなる講座です。ホルンを知ることによってオーケストラの森の深みに分け入っていきましょう!

◆講師プロフィール◆ 塚田聡 ホルン Satoshi Tsukada/Horn

東京藝術大学卒業。アムステルダムに留学し、C.モーリー氏にナチュラルホルンを師事する他、フラウト・トラヴェルソを K.ヒュンテラー氏に師事するなど古典派音楽への造詣を深める。01年には文化庁在外研修制度を利用し再度渡欧、T.v.d.ツヴァルト氏にナチュラルホルンを師事する。現在は東京フィルハーモニー交響楽団のホルン奏者、またナチュラルホルン奏者として活躍。ラ・バンド・サンパ主宰、ナチュラルホルンアンサンブル東京のメンバー。